

## 区史のジャケットデザインについて

ジャケットは、書籍の表紙を包む紙であり、表紙の保護を目的としています。区民に区史を手にとって親しみを持てる区史にするため、次により作成します。

### 1 ジャケットデザインの基本的な考え方

#### (1) 親しみやすく手にとってもらえるデザイン

→いわゆる自治体史の堅いイメージではなく、幅広い世代が思わず手に取り、長く親しみ、愛着の持てるデザインであること。また、視認性が高く、目立つデザインであること。

#### (2) 港区史全巻を通して統一感のあるデザイン

→つながりを持った写真の使用や色彩を統一したものにすること。

#### (3) 令和という新しい時代に、約40年ぶりに刊行される新たな区史として相応しいデザイン

→港区の歴史的背景を考慮し、歴史的な重みを感じさせながらも、現代的なセンスが感じられるデザインであること。

#### (4) 港区ならではのものを入れること。

→港区シティプロモーションシンボルマーク（以下「CPマーク」という。）、港区紋章のカラーの使用や、港区の景色等を使用したデザインであること。なお、CPマークについては、マークとしてそのまま使用するのではなくCPマークカラーを帯で配置するなど、デザイン性も考慮します。

### 2 留意事項

#### (1) 色について

誰も見やすく分かりやすくするため、港区カラーバリアフリー・ガイドラインに基づき作成します。

### 3 ジャケット案（資料3-2のとおり）

案		A	B	C
コンセプト		<b>普遍性×インパクト</b> 流行に左右されない「色」と「文字」のみで表現	<b>伝統×国際性</b> 歴史的・文化的伝統と国際都市としての先進性・現代性を表現	<b>歴史×リアリズム</b> 各時代の港区の歴史を表現する事物・事象を表現
上記2「基本的な考え方」	(1) 手に取って貰える	文字のみで表現（モダンな書体を採用）	モダンな書体とモノクロ表現でお洒落感を演出	これまでの自治体史のイメージを保持（他自治体史ジャケットの写真等）
	(2) 統一感	各時代を象徴する写真を用い、つながり（連続性）を持った背表紙	モノクロ写真（港区の風景等）を採用	透過性のある帯
	(3) 新たな区史として	これまでの自治体史のイメージを覆すシンプルで斬新なデザイン	欧文でタイトルを大きく配置した洋書のようなデザイン	時代を象徴するモノの写真により、各時代の特徴を表現
	(4) 港区ならではの	全面に区紋章のカラーを採用、背表紙に港区の象徴的な景色を配置	タイトルにCPマークカラーを入れCPマークの色帯を背表紙に配置	・タイトル上部にCPマークカラーの帯を配置。

#### 4 表紙のデザインについて

表紙のデザインは、次のとおり検討しています。

- (1) パターン1 ジャケットデザインと同一とし、色は二色刷り
- (2) パターン2 背表紙に書籍名（港区史+時代名）のみ、色は二色刷り
- (3) パターン3 背表紙+表紙に書籍名（港区史+時代名）のみ、色は二色刷り